

L形側溝

- 「L形側溝」は日本産業規格（JIS A 5372-2016 鉄筋コンクリート製品／L形側溝）のほかに、横断歩道部や歩道部への車両の乗入れ用としての「乗入れ型」や「斜切り型」（左上り／右上り）などを整理し体系化した路面排水用側溝です。
 - 旧規格には「無筋コンクリートL形」が規定されておりましたが、現在の規格では削除されています。
 - L形側溝2種（長さ2m）を「L形ロング」と称しました。マウンドアップ型です。
 - 縁石部分が両面RになっているL形ロングを「セミフラット」と称しました。セミフラット型です。
 - 縁石部分の中央に反射板を取り付けた「反射板付き」の製品もあります。
 - アスファルトとコンクリート製品の境目から雑草が生えない「雑草防止機能付き」の製品もあります。
- ※「反射板付き」および「雑草防止機能付き」の対応製品につきましては、弊社営業にお問合せください。

寸法の単位は(mm)、参考重量の単位は(kg)です。

No.	呼び名	種類	有効幅	境界幅	境界高	全高	長さ	重量	JIS	区分
1	250B	標準	250	100	100	155	600	57	A 5372-2016 1種	AB
2		乗入れ			50	105		53		
3		左上り			100	155		55		
4		右上り			100	155		55		
5	300	標準	300	100	100	155	600	63	A 5372-2016 1種	AB
6		乗入れ			50	105		59		
7		左上り			100	155		61		
8		右上り			100	155		61		
9	350	標準	350	100	100	155	600	70	A 5372-2016 1種	AB
10		乗入れ			50	105		66		
11		左上り			100	155		68		
12		右上り			100	155		68		
13	500BA ^{※1} (ロング)	標準	500	180	200	320	2000	614	A 5372-2016 2種	AB
14		乗入れ		198	50	170		472		
15		左上り		180	200	320		595		
16		右上り						595		
17		排水口						554		
18		水抜き						590		
19	500BB (ロング)	標準	500	180	200	370	2000	781	なし	AB
20		乗入れ		198	50	220		639		
21		左上り		180	200	370		762		
22		右上り						762		
23		排水口						699		
24		水抜き						757		
25	500BC (ロング)	標準	500	180	200	420	2000	948	なし	AB
26		乗入れ		198	50	270		806		
27		左上り		180	200	420		929		
28		右上り						929		
29		排水口						824		
30		水抜き						924		

※1：JIS A 5372-2016 での呼び名は500Bですが、全高を50mmづつ高くした製品(500BB、500BC)を追加したため、それぞれを区別するためこのような呼び名にしました。

L形側溝

寸法の単位は(mm)、参考重量の単位は(kg)です。

No.	呼び名	種類	有効幅	境界幅	境界高	全高	長さ	重量	JIS	区分			
31	500CA※1 (ロング)	標準	500	180	250	370	2000	664	A 5372-2016 2種	AB			
32		排水口						604			なし		
33	500CB (ロング)	標準	500	180	250	420	2000	832	なし	AB			
34		排水口						749			なし		
35	500CC (ロング)	標準	500	180	250	470	2000	1000	なし	AB			
36		排水口						895			なし		
37	500B※2 H=150 (セミフラット)	標準	500	180	200	320	2000	661	なし	AB			
38		車道乗入		218	50	170		506					
39		左上り		180	200	320	1000	282		なし	AB		
40		右上り						282					
41		排水口		2000	615	なし	AB						
42		水抜き			638								
43		500B※2 H=150 (セミフラット)		標準	500	219	20	140		2000	484	なし	AB
44				歩道乗入				R左用		170	600		
45	R右用		140					474 / 600	148				
46	R3用								129				
47	R6用		532 / 600					139					
48	R9用		553 / 600					143					
49	500B※2 H=180 (セミフラット)	標準	500		180	200	350	2000	768	なし	AB		
50		車道乗入		218	50	200	616						
51		左上り		180	200	350	1000	337	なし		AB		
52		右上り						337					
53		排水口		2000	714	なし	AB						
54		水抜き			748								
55		500B※2 H=180 (セミフラット)		標準	500	219	20	170	2000		591	なし	AB
56				歩道乗入				R左用	200		600		
57	R右用		170					474 / 600	180				
58	R3用								159				
59	R6用		532 / 600					169					
60	R9用		553 / 600					173					
61	500B※2 H=200 (セミフラット)	標準	500		180	200	370	2000	840	なし	AB		
62		車道乗入		218	50	220	688						
63		左上り		180	200	370	1000	371	なし		AB		
64		右上り						371					
65		排水口		2000	776	なし	AB						
66		水抜き			817								
67		500B※2 H=200 (セミフラット)		標準	500	219	20	190	2000		663	なし	AB
68				歩道乗入				R左用	220		600		
69	R右用		190					474 / 600	201				
70	R3用								178				
71	R6用		532 / 600					188					
72	R9用		553 / 600					192					

※1: JIS A 5372-2016 での呼び名は500Cです。呼び名を変えた理由は前頁下段と同じです。

※2: セミフラットの場合は、車道側のエプロン厚さで区別する呼び名にしました。

L形側溝

注意してください！

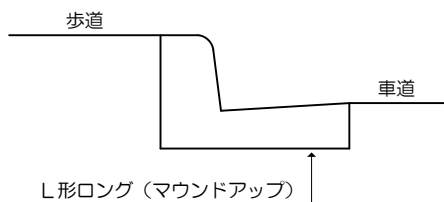
●L形側溝について、当社では需要家の皆様との共通な呼び方として、車道側から歩道側を見た場合の形状や用途により次のように統一しています。

- 「標準」(特別な形状や加工を施していないもの)
 - 「デレクター」(視線誘導標を埋め込むための縦孔があいているもの)
 - 「左上り」(左側に上り勾配になっていますので、横断歩道部や車両乗入部の左側にご使用ください)
 - 「右上り」(右側に上り勾配になっていますので、横断歩道部や車両乗入部の右側にご使用ください)
 - 「排水口」(エプロン部に路面排水柵のグレーチングが付いているもので、下に専用の「ます」をご使用ください)
 - 「水抜き」(歩道部から車道部へ排水するための横穴があいているもの)
 - 「車道乗入」(標準型よりも高さが低いもので、車両乗入部にご使用ください)
 - 「歩道乗入」(標準型よりも高さが低いもので、横断歩道部にご使用ください)
- (R状に配置できる「R用」があります。交差点の横断歩道部にご使用ください)

歩道形式

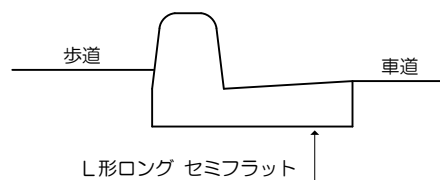
マウンドアップ型

(歩道と車道に段差があります)



セミフラット型

(歩道と車道に50mmの段差があります)
 (歩道の方が車道よりも50mm高いです)
 (歩道乗入の場合は段差が20mmになります)



反射板付き

●反射板付き製品には、縁石部分(2m)の中央に反射板を取り付けてあります。進行方向に対して最も効果的な角度で取り付けてあり、反射光は注意を促す黄色です。

